

アジア市場への食の輸出拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛		
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H30 年度	
		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				□ 県単	□ 補助金					経過年数
関連する県の計画等			[ふくいの農業基本計画]				□ その他	■ その他					1 年
[事業目的]													
<p>経済成長による市場拡大や富裕層の増加などで魅力的な海外市場であるアジア諸国に対して、県産農林水産物をはじめとする食を中心に、酒や伝統的工芸品等を組み合わせた食文化のPRを一体的かつ強力に展開し、新たな販路の開拓による輸出拡大を図る。</p>													
[事業内容]													
<p>(1) セミナー ○県内事業者を対象とした海外展開セミナー（アジア地域の海外ビジネス、商品力向上）の開催 ○ハラル認証の取得に向けた研修会を開催 [ジェトロと共催]</p> <p>(2) 各国での活動 ○シンガポール、香港の大使公邸を活用した「福井の食文化提案会」を開催し、現地バイヤーや飲食店オーナーにPR ○台湾やシンガポールの高級スーパー等において「福井県物産展」を開催し、現地富裕層にPR</p> <p>(3) 県内での活動 ○アジア各国のバイヤーとの商談会を県内で開催 [ジェトロと共催]</p>													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移						16,430	16,430	16,430	[H27.2月 経済対策]				
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
[成果指標等の推移]													
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	本県農産物等を採用する飲食店数	(目標)				(20)	(25)	(30)	政策合意目標数値				
		実績											
活動指標	食文化提案会、商談会、物産展の開催件数	(目標)				(5)	(5)	(5)	食文化提案会2件、県内商談会1件、物産展2件				
		実績											
[財源内訳・事業主体等]													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		ふくい食輸出サポートセンター					
予算額	16,430	16,430				事業実施方法		負担金					
						補助率		—					

事業評価

事業名	アジア市場への食の輸出拡大事業	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>TPPを食の海外輸出を進める好機と捉え、TPP参加国を含むアジア諸国に対して、本県の農林水産物をはじめとする食のPR活動を強力に展開し、新たな販路の創出、輸出の拡大を図る。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内の農林水産業者、食品業者、6次化事業体等				延べ約70社（セミナー30社、食文化提案会4社、物産展10社、商談会20社）				
他県の状況	※シンガポールにおける食のPRの状況 【石川県】 ・「ワールド・グルメ・サミット」におけるPRオープニングレセプションに石川県ブースを出展 石川の食文化PRディナーの実施 ・日本大使館施設における石川の伝統工芸と地酒のPR 【新潟県】 ・新潟米の試食宣伝会の開催			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県産農林水産物のアジア市場開拓事業 （実績） ・シンガポールの高級日本料理店において食文化提案会を開催 ・また、バイヤー招聘等も行い、甘えび、越前がに、鯖のへしこ等をシンガポール向けに販売 ・本県産農林水産物を採用する飲食店 10店（見込み）			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 アジア市場への食の輸出拡大事業（産業政策課） （役割分担） ・県内事業者と現地バイヤーとの商談会を開催 ・国際展示会・商談会への出展支援 ・海外業界団体等との取引開始を前提とした産地視察を実施			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井ゆかりの店の情報発信拠点活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛																																				
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H29 年度	H29 年度																																				
関連する県の計画等		政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			<input type="checkbox"/> 県単		■ 補助金																																								
			[ぶくいの農業基本計画]				<input type="checkbox"/> その他	□ その他																																							
<p>[事業目的]</p> <p>県産の農林水産物の都市圏での知名度を上げるとともに、生産者、漁家の所得向上の推進を図るため、農林漁業者団体等が地域の情報等とあわせて、新鮮な農林水産物を都市圏の飲食店（福井ゆかりの店）に提供することにより、大都市圏へ福井県の魅力を発信する取組みを支援する。 また、福井ゆかりの店を県の施策の情報発信拠点として、県の各種施策のPRができるネットワークシステムを作る。</p>																																															
<p>[事業内容]</p> <p>○福井ゆかりの店の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県、協議会（生産者）が協力して「福井ゆかりの店」に登録する飲食店を開拓 ・ 商談に必要なサンプルを飲食店に提供 ・ 登録を希望する店舗と生産者のマッチング商談会・現地説明会を開催 ・ 飲食店向け専門誌に福井の食材特集と、福井ゆかりの店の募集PRを掲載 ・ おいしい福井県産そば認証店PRパンフの作成・配布 <p>○福井ゆかりの店への売込みを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JA経済連、漁連により構成する協議会を結成し生産者等を支援 ・ 「福井ゆかりの店」へ営業、販売活動を支援 ・ 補助上限額：平均150千円 ・ 対象数：20団体（JAや漁協、または生産者、漁家をメンバーに含む任意団体） 																																															
<p>[予算額の推移等] （単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>22,329</td> <td>5,817</td> <td>5,817</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>22,329</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	当初予算額の推移				22,329	5,817	5,817			2月現計予算額の推移				22,329					決算額の推移								
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由																																							
当初予算額の推移				22,329	5,817	5,817																																									
2月現計予算額の推移				22,329																																											
決算額の推移																																															
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td>農林水産物の首都圏のゆかりの店への流通量</td> <td>(目標)</td> <td></td> <td>(50t)</td> <td>(70t)</td> <td>(100t)</td> <td></td> <td>物流費について、物流会社と協議できるだけの量になるだけの取引量を確保</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>福井ゆかりの店の登録件数</td> <td>(目標)</td> <td></td> <td>(170店)</td> <td>(220店)</td> <td>(250店)</td> <td></td> <td>首都圏200店 関西圏50店</td> </tr> </tbody> </table>												区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	農林水産物の首都圏のゆかりの店への流通量	(目標)		(50t)	(70t)	(100t)		物流費について、物流会社と協議できるだけの量になるだけの取引量を確保	活動指標	福井ゆかりの店の登録件数	(目標)		(170店)	(220店)	(250店)		首都圏200店 関西圏50店									
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																							
成果指標	農林水産物の首都圏のゆかりの店への流通量	(目標)		(50t)	(70t)	(100t)		物流費について、物流会社と協議できるだけの量になるだけの取引量を確保																																							
活動指標	福井ゆかりの店の登録件数	(目標)		(170店)	(220店)	(250店)		首都圏200店 関西圏50店																																							
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">県、農林漁業者またはその団体等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>5,817</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5,817</td> <td>事業実施方法</td> <td>直営または補助</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td>県1/2</td> </tr> </tbody> </table>												区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、農林漁業者またはその団体等	予算額	5,817				5,817	事業実施方法	直営または補助							補助率	県1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、農林漁業者またはその団体等																																								
予算額	5,817				5,817	事業実施方法	直営または補助																																								
						補助率	県1/2																																								

事業評価

事業名	福井ゆかりの店の情報発信拠点活用事業	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>県産の農林水産物の都市圏での知名度を上げ、生産者、漁家の所得向上の推進を図るとともに、登録店を福井のPR拠点として活用することで、県の各種施策のPRを行い、福井への観光誘客やUIターンを図る。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
農林漁業者およびその団体、福井ゆかりの店登録店舗				約240社（ゆかりの店220店、農林漁業者支援団体20社）				
他県の状況	都市圏飲食店等への売込みは各県で実施			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
産地視察ツアーや福井の食材をふんだんに使った福井フェアの開催、商談会等を実施し、最終的に170店舗をゆかりの店として登録見込みであり、観光ポスターの掲示や園芸カレッジなどの県の施策の紹介をすすめ、福井に興味を持った人を、観光、定住へ誘客していく。		福井ゆかりの店の目標店舗登録数に応じた事業費の見直しおよび発注システム整備完了による事業費の削減			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 15,781
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

味わい学ぶ「ふくい 味の週間」推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	29 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				■ 県単	□ 補助金			
[事業目的]											
「味わい、学び、楽しむ」をコンセプトに県民の食に対する関心や意識を高めると共に、魅力ある福井の食ブランド、福井が先導する食育を県内外へ発信し、食育先進県、「食の國ふくい」としての認知度を高める											
[事業内容]											
<ul style="list-style-type: none"> ●ふくい 味の祭典の開催 <ul style="list-style-type: none"> ○2年後国体に向けたスポーツ食育・栄養フェア <ul style="list-style-type: none"> ・食とスポーツとの関係を展示パネル等において紹介する他、県産食材を活用したスポーツ選手向けメニューの試作、試食会 ○食育、地産地消推進イベント <ul style="list-style-type: none"> ・地元農家と地元シェフとのマッチング企画や県民参加型の福井食文化継承イベント、食育リーダーが中心となる体験ブースの展開など ●全国高校生食育王選手権大会（第10回記念大会） <ul style="list-style-type: none"> ○有名シェフ等著名人を交えた決勝大会参加高校生との交流会（前夜祭） ○県主催の実績を踏まえ、民間への事業継承を目的に協賛企業等への勧誘を強化 											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移	14,768	18,516	21,750	21,750	21,750	21,750		平成25年度以降は、農林水産関係者だけでなく、食関連企業、組合等を含めて規模を拡大			
2月現計予算額の推移	14,768	18,516	21,750	21,750							
決算額の推移	13,445	15,500	19,200	/							
[成果指標等の推移]											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	集客数	(目標)	(20,000)	(30,000)	(20,000)	(40,000)	(40,000)	(40,000)	25年度は前年実績と規模拡大により増、27年度は、他課イベントとの同時開催により目標増		
		実績	32,000	33,000	35,800	50,000					
成果指標	食育王参加チーム数	(目標)	(200)	(300)	(300)	(500)	(500)				
		実績	160	244	280	309					
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県				
予算額	21,750	2,000			19,750	事業実施方法	委託				
						補助率	—				

事業評価

事業名	味わい学ぶ「ふくい 味の週間」推進事業	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>【味の祭典】 食育・地産地消をベースとした取組は県内各地で実施されているが、それらを集約した形として「ふくい 味の週間」の展開がある。「ふくい 味の祭典」は、その集大成としてのイベントであり、農林水産業関係者に限らず、食を取り巻く様々な企業や、企画を盛り込むことにより、「食」が全ての基本であるということと、福井の農林水産業を食の総合産業として成長させるきっかけとしたい。またその意義について県民へアピールできる重要なイベントとする。</p> <p>【食育王選手権大会】 食育先進県として全国レベルの大会イベントを9年間実施し、ある一定の認知度は高めてきたと考えている。10回大会を境に、福井県発である「食育王」という名称を残しつつ民間への事業継承を進めることで、新たな視点の導入や広報等、質のレベルアップを図り、高校生等次世代へのさらなる食育の普及を目指したい。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県民全体				約80万人				
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○富山県主催 越中とやま食の王国フェスタ 10月下旬の土日 両日で来場者約3万人 ・食に関するイベントステージ、県内シェフのレストラン、直売所 ・食の体験イベントなど ○内閣府主催 食育推進全国大会（各県、政令指定都市等にて開催） ・食育に関する講演会、イベントブース（販売ブースは原則無し） ○食の甲子園inやまがた（主催：山形県） ・地元の高校生を対象に地元食材を使ったコンクール（H17～H26） ○いしかわスイーツコンテスト（主催：石川県ほか） ・全国の専門製菓専修学校生を対象としたコンテスト（H24～） 	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	事業名 「ふくいの食・世界の食」交流発信事業 （実績）平成26年度 ・来場者 35,800人 ・販売額 15,793千円 ・出展団体数 134団体				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況	事業名 （役割分担） 福井県食育・地産地消連携会議にて情報交換 県主催のイベント等との連携、調整					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
○「ふくい 味の祭典」開催（来場者数：50,000人） ・秋山徳蔵ゆかりの人が語る「天皇の料理番」トーク&デモ ・ふくい朝ごはん運動による朝ごはんの歌披露ステージ、ふるまい等 ・食育、地産地消体験イベント、販売活動 ・「全国高校生食育王選手権大会」の開催（参加チーム数：309チーム） ・北陸DC-北陸3県食の祭典、新そばまつりとの連携		変更点なし			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井県産米販売強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛																																					
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H29 年度																																				
関連する県の計画等		政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他																																								
<p>[事業目的]</p> <p>首都圏等主な消費地におけるプレゼント企画等キャンペーンの実施や食味検査により区分集荷された「限定コシヒカリ」「夜間かんがい米」といった高付加価値米の企画・販売や情報発信を行い、福井県産米のブランド化を図る。</p>																																																
<p>[事業内容]</p> <p>○首都圏や主な消費地における福井米の販売促進活動 ・イメージキャラクターの設定、購入者へのプレゼント企画の実施等 ・主要な消費地でのPRイベントの開催</p> <p>○首都圏等における福井米のさらなるイメージ向上とブランド力強化を図る活動 ・百貨店等でのPR販売 ・キッチンカーを活用したイベントへの出展</p> <p>○卸業者と共動した限定コシヒカリや高付加価値米（夜間かんがい米等）の首都圏等での販売</p>																																																
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td>22,246</td> <td>24,382</td> <td>25,550</td> <td>27,150</td> <td>27,150</td> <td>27,150</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td>22,246</td> <td>22,698</td> <td>25,550</td> <td>27,150</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td>21,465</td> <td>22,280</td> <td>25,550</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	当初予算額の推移	22,246	24,382	25,550	27,150	27,150	27,150			2月現計予算額の推移	22,246	22,698	25,550	27,150					決算額の推移	21,465	22,280	25,550					
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由																																								
当初予算額の推移	22,246	24,382	25,550	27,150	27,150	27,150																																										
2月現計予算額の推移	22,246	22,698	25,550	27,150																																												
決算額の推移	21,465	22,280	25,550																																													
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標 「限定コシヒカリ」の企 画・販売量(t) (目標) 実績</td> <td></td> <td>505</td> <td>1,002</td> <td>(1,000) -</td> <td>(1,000)</td> <td>(1,000)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標 「限定コシヒカリ」を企画・販売 (目標) する卸業者数 実績</td> <td></td> <td>3</td> <td>7</td> <td>(6) 5 (見込み)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標 「限定コシヒカリ」の企 画・販売量(t) (目標) 実績		505	1,002	(1,000) -	(1,000)	(1,000)			活動指標 「限定コシヒカリ」を企画・販売 (目標) する卸業者数 実績		3	7	(6) 5 (見込み)	(6)	(6)											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																								
成果指標 「限定コシヒカリ」の企 画・販売量(t) (目標) 実績		505	1,002	(1,000) -	(1,000)	(1,000)																																										
活動指標 「限定コシヒカリ」を企画・販売 (目標) する卸業者数 実績		3	7	(6) 5 (見込み)	(6)	(6)																																										
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">福井県経済農業協同組合連合会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>27,150</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>27,150</td> <td>事業実施方法</td> <td>補助</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td>県1/2</td> </tr> </tbody> </table>													区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県経済農業協同組合連合会	予算額	27,150				27,150	事業実施方法	補助							補助率	県1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県経済農業協同組合連合会																																									
予算額	27,150				27,150	事業実施方法	補助																																									
						補助率	県1/2																																									

事業評価

事業名	福井県産米販売強化事業	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>「価格と生産の低迷」、「農林水産物の貿易自由化」など福井のコメの生産が大きな転換期を迎える中、高付加価値の「限定コシヒカリ」「夜間かんがい米」を企画・販売することにより生産者の所得向上を図る。さらに、福井米があまり認知されていない首都圏などにおいてキャンペーンを展開することにより福井米の知名度の向上を図る。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内米生産者				1万8千人				
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道「『ゆめぴりか』キャンペーン」 27年度4億円（ホクレン） …道内外でテレビCM放映、新聞広告 ・山形県：県産米販売促進緊急対策事業費 27年2月補正予算25,000千円…首都圏、近畿圏、中京圏で「つや姫」「はえぬき」CMを各60～80本放映 	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「ポストこしひかり」ブランド化事業 (役割分担) 「ポストこしひかり」の平成29年度の品種登録出願を見据え、食や広告などの専門家等による「ポストこしひかりブランド化戦略会議」を設置し、「ポストこしひかり」の販売促進にあたって望ましいイメージ戦略や販売手法を協議・確立する。	市町との連携状況						
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
吉本の芸人を起用したキャンペーンを展開し、積極的な販売促進活動を実施した。また卸業者と共動して福井米のブランドリーダーとなる「限定コシヒカリ」の販売を東京および大阪で実施した。		変更点なし			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

和食給食への地場産食材提供事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤 弘剛		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	[元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	28 年度	
関連する県の計画等	政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			<input type="checkbox"/> 県単		■ 補助金	<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]													
和食や郷土料理を取り入れた給食を提供する県内の小中学校に対して、地場産農林産物を供給する体制の整備を支援する。													
[事業内容]													
項目	活動内容							実施主体	補助率	要求額			
①地場産給食推進会議	地域の生産者、農産物直売所、給食関係者が協力して生産・供給を推進。県域推進会議の開催							県	—	600千円			
②供給体制の整備支援	農産物直売所に保冷施設やコンテナを整備し、給食向けに地場産食材を集出荷する体制づくりを支援（1か所）							直売所等	1/2	750千円			
③学校給食体験畑による納入支援	小中学生による畑作体験を兼ねた給食納入活動を支援（10か所）							市町	1/2	875千円			
④和食給食への地場産食材の提供	県内市町の特産品を使用した加工品等を使用し、和食や郷土料理を取り入れる給食に対する支援 対 象：県内公立全小中学生 67,000人（小学生 43,700人, 中学生 23,300人） （地場産食材の提供：補助率1/2） 補 助 額：使用する地場産食材の食材費（月額80円/食以内） 対 象 月：和食の日（11月24日）を中心とした11月の他、学校給食週間（1月下旬）を中心とした1月、 食育月間の6月などの3カ月間 積算内訳：67,000食 × 80円/月 × 3か月 × 1/2							市町	1/2	8,040千円			
[予算額の推移等] （単位：千円）													
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由					
当初予算額の推移			23,975	15,703	10,265			・実施主体への要望聞き取りによる保冷施設等整備の実施箇所数減（3箇所→1箇所） ・短期間に集中して実施するため和食給食の導入支援の実施期間の減（10ヶ月→3ヶ月）					
2月現計予算額の推移			1,999	3,501									
決算額の推移			1,358										
[成果指標等の推移]													
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
活動指標	学校給食における地場産食材使用率	(目標)	—	—	(40.0)	(43.0)	(46.0)	(50.0)	学校給食での地場産食材使用量調査における地場産食材使用率の県平均 ◇第2次 ふくいの食育・地産地消推進計画目標値：50%（H30年度）				
		実績	37.6	35.3	40.9	43.5							
成果指標	和食給食への地場産食材導入支援実施市町	(目標)	—	—	—	(17)	(17)		地場産食材を用いた和食給食を導入する補助事業の実施市町				
		実績	—	—	1	7							
[財源内訳・事業主体等]													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県①, 直売所等②, 市町③④					
予算額	10,265				10,265	事業実施方法		直営①, 補助②③④					
						補助率		県1/2 ②③④					

事業評価

事業名	和食給食への地場産食材提供事業	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤 弘剛
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>県では学校給食での地場産食材の利活用推進を図り、子どもたちに郷土福井の農林水産物を知って貰う機会の提供および食の大切さの理解を図るため、学校給食を通じた食育活動に取り組んでいる。 平成25年12月の「和食」のユネスコ世界無形文化遺産登録を受け、優れた福井の「食」を後世に受け継ぐため、すべての子どもたちが学校で福井の食材を通じた和食文化を体験できるよう本事業を立ち上げた。 (本事業は、「第2次ふくい食育・地産地消推進計画(平成26~30年度)」の重要施策として位置付けられている)</p>							
<p>[受益者]</p> <p>県内全小中学校 児童・生徒</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>67,000人</p>			
他県の状況	<p>他県でも小学校の農業体験などの事業は存在するが、学校給食に体系的に網羅した本事業のような事業は存在しない</p>	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地場産学校給食推進事業 (実績) 小規模ハウスのハード支援や、地域の地場産給食推進会議による県産品を使った給食メニュー開発等のソフト支援を実施				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 コシヒカリ等福井米給食推進事業 (役割分担) 県内全小中学校の米飯給食を地元産のおいしい福井米(コシヒカリ、イクヒカリ、あきさかり)による地産地消を進めるため、地場産和食給食を市町やJAと連携し米飯供給の面から支援している(ハナエチゼンとの差額補てん事業)	市町との連携状況	市町教育委員会や農政部局あるいは学校関係者と連携を図り、地場産食材を活用した和食給食の導入を推進している				
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価		
<ul style="list-style-type: none"> ・地場産給食推進会議で協議を進めた結果、地場産食材使用率は過去最高の43.5%となった。 ・保冷施設等の整備は、学校給食への食材供給拡大の意向を示す直売所で1カ所整備見込である。 ・学校給食畑の導入支援は、実施校は少なかったが、学校の自助努力などにより政策合意目標(130校)は到達見込。 ・和食給食の導入支援は、7市町で実施しているが、事務処理の簡素化および効率化が求められている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・保冷施設等の整備は、実施箇所数を精査。(3箇所→1箇所) ・学校給食畑の導入支援は、導入困難な学校を中心に重点的に支援する。 ・和食給食の導入支援は、短期間に集約(10ヶ月→3ヶ月)したことや補助単価を上げ(40円/食・月→80円/食・月)、子供達が現状よりさらに地場産食材を実感できるよう改善した。 			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額 △ 5,438

「ポストこしひかり」ブランド化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	29 年度
関連する県の計画等			[ぶくいの農業基本計画]									
[事業目的]												
「ポストこしひかり」の平成29年度の品種登録を見据え、食や広告などの専門家等による「ポストこしひかりブランド化戦略会議」を設置し、「ポストこしひかり」の販売促進にあたって望ましいイメージ戦略や販売手法を協議・確立する。												
[事業内容]												
コシヒカリを生んだ福井県が作る『コシヒカリの正統後継品種』であるポストこしひかりの商品コンセプトやPR手法を策定する戦略会議を設置												
①ポストこしひかりブランド化戦略の策定 ・ブランド化戦略会議の設置、戦略会議委員による業界全体へのPR、情報発信												
②市場調査、PR戦略の検証												
③名称の商標登録												
【実施主体】県												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					852	16,582	50,000		・ブランド化戦略会議の設置、運営および市場調査、PR戦略検証			
2月現計予算額の推移					852							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	「ポストこしひかり」を「つや姫」(有機栽培米は魚沼産コシヒカリ)を超える価格で販売 (目標) 実績								◇参考 つや姫：17,900円(H27.11現在 60kg玄米) 魚沼産コシヒカリ：20,100円(H27.11現在 60kg玄米)			
活動指標	ブランド化戦略会議開催回数 (目標) 実績					(3)	(3)	(3)	60.00%			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	16,582				16,582	事業実施方法	直営(委託)					
						補助率	—					

事業評価

事業名	「ポストこしひかり」ブランド化事業	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>本県は、平成29年度に「ポストこしひかり」の品種を登録、30年度に本格生産を開始する。「つや姫」「ゆめぴりか」に加え、「青天の霹靂」「新之助」など各県から新品種が続々と誕生し、大々的にPRが展開されている中、「ポストこしひかり」が競争に勝ち抜くためには、これらとは違った戦略づくりが必要である。食や広告の専門家等で構成されたブランド化戦略会議を設置し、「ポストこしひかり」のイメージ戦略や販売手法の協議・確立を目指す。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内米生産者				1万8千人			
他県の状況	<p>○主なコメ新品種の販売戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森県：「あおり米『青天の霹靂』ブランド・プロモーション事業」(H27～H29) 27年度当初予算103,193千円…HPの制作、テレビ、新聞広告(県内)、首都圏の飲食店、街頭での試食イベントの開催 ・新潟県：「水稻晩生品種(新之助)デビュー戦略推進事業」27年度当初予算156,771千円…アンテナショップの設置、運営。名称発表会の開催(東京) ・滋賀県：「『みずかがみ』産地化スタートダッシュ事業」(H25～H26) 26年度当初予算42,543千円…県内での試食イベント、CM放映、京阪神での店頭キャンペーン 	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名	(実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井県産米販売強化事業 (役割分担) <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏や主な消費地における福井米の販売促進活動 ・首都圏等における福井米のさらなるイメージ向上とブランド力強化を図る活動 ・卸業者と共動した限定コシヒカリや高付加価値米(夜間かんがい米等)の首都圏等での販売 	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
県、中央会、経済連が一体となって販売対策会議を設置し、「ポストこしひかりブランド化戦略」の骨子を提示した。経済連の主要卸や大都市圏の小売業者、食、流通、販売、広告宣伝等各分野の専門家から「ポストこしひかり」の効果的なPR手法等について意見を聴取し、骨子に反映させた。		ブランド化戦略会議を設置。27年度に作成した骨子をもとにブランド化戦略を協議し策定する。		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ライフステージに応じた食育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤 弘剛
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H28 年度	
関連する県の計画等			[第2次 ふくいの食育・地産地消推進計画]								
[事業目的]											
生涯にわたって健やかで豊かな食生活を送るため、それぞれの年代に求められる知識等を自ら体験して学ぶことのできる食育を推進する。											
[事業内容]											
	対象年代	項目	活動内容	実施主体	補助率	要求額	財源				
①	未就学の子供とその保護者	地域の食文化体験	小さい頃から地域の食や文化に触れる体験講座を開催	市町	1/2	200千円	一般				
②	"	すくすくクッキング	就学前の子供とその保護者に対して、料理体験や料理講習会を開催	市町	1/2						
③	小学生中学生	農業体験学習	農林水産物の生産や販売現場等を体験し、地域の食や産品への関心を高める体験学習を実施	JA中央会・市町	1/2	6,250千円	国庫				
④	"	味覚を学ぶ授業	味覚の仕組み等を学び、食の大切さや楽しさを感じることのできる授業を実施	県・市町	1/2	1,100千円	一般				
⑤	高校生	食材を知る授業	今後の食生活の自立に向け、地場産食材の特徴を知り、栄養や調理法などを学ぶ授業を実施	県・実施学校	1/2	450千円	一般				
⑥	高校生・専門学校・大学生	食育サークル活動の支援	食育活動を実践する高校生や大学生の自主グループの活動を支援	実施団体	1/2	300千円	一般				
⑦	指導者育成	食育・地産地消リーダーのレベルアップ支援	ふくいの食育・地産地消推進計画を推進する食育・地産地消リーダーのレベルアップの支援	県・実施団体	1/2	2,290千円	国庫				
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				13,366	10,908	10,590					
2月現計予算額の推移				5,426	4,422						
決算額の推移				3,262							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	小中学校での体験活動	(目標)	-	-	(286)	(280)	(276)				
		実績	245	254	286	-					
活動指標	味覚の授業等開催数	(目標)	-	-	(100)	(85)	(100)				
		実績	100	113	99	-					
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	市町①②③④⑤⑥⑦, JA中央会③, 県④⑤⑥⑦, 実施学校⑤, 実施団体⑥⑦				
予算額	10,590	6,895			3,695	事業実施方法	補助①②③④⑤⑥⑦, 直営④⑤⑥⑦				
						補助率	県1/2 ①②③④⑤⑥⑦				

事業評価

事業名	ライフステージに応じた食育推進事業	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤 弘剛
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>食は、生涯にわたり健全な心身を培い、豊かな人間性を育むために重要であるが、一方でライフスタイルの多様化や、社会的・経済的な要因等により、世代間で食習慣に差がある。世代毎にそれぞれ健全な心身を培うための食に関する課題が異なり、きめ細かな施策が必要であり、食に関する意識や行動における世代間格差を解消するとともに各世代に合わせた食育プログラムを整備し、生涯にわたり食育を実践するため本事業を実施する必要がある。 (本事業は、「第2次ふくいの食育・地産地消推進計画(平成26~30年度)」の重要施策として位置付けられている)</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内の未就学児~高校・大学生、食育リーダー出前講座受講者				約100千人(県内幼稚園・保育園~高校の児童、生徒)			
他県の状況	他県でも小学校の農業体験などの事業メニューは存在するが、幼少期~成人まで世代別に課題を抽出し、取組む同様の事業は存在しない。	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 味わい学ぶ「ふくい 味の週間」推進事業 (実績) 「ふくいの食育・地産地消推進計画(第1次)」に基づき、小中学校での農業・農産物加工体験の実施、味覚の授業、妊産婦対象の食育講座(すくすくクッキング)などを実施				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	<input type="checkbox"/> ①~④までの未就学児~中学生対象の事業は、市町が実施主体であり、市町の農政部局および教育委員会と連携を図り実施している。食育リーダーの育成や活用についても市町と連携を図り実施している。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
○地域の食文化体験・すくすくクッキング(市町) 1市町1箇所 ○農業体験学習(JA中央会・市町) 33小学校97学級, 2中学校4学級 ○味覚を学ぶ授業(市町・県立学校) 53小中学校125学級 ○食材を知る授業(県立・私立学校) 6高校15学級 ○食育サークル活動の支援(実施団体) 5校5団体 ○食育リーダー認定者数 165名(うち63名H27新規) ○食育リーダー出前講座(実施団体) 10団体 (27年度見込)		27年度見込みや市町や農林総合事務所の次年度要望を勘案し、補助件数を精査。 ・地域の食文化体験・すくすくクッキング: (25団体→5団体) ・食育リーダーの出前講座: (50団体→20団体)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 318
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

事業評価

事業名	6次産業化推進事業	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>国では、農業を成長産業と位置づけ、「攻めの農業」を推進する「農林水産業・地域の活力創造プラン」を平成25年12月に策定した。こうした国の政策変更に対応し、収益性の高い農業経営を実現し企業的な産業に育成していくため、本県では平成26年4月に福井の農業基本計画を策定し、生産コストの低減による規模拡大や生産物を加工し付加価値を高めて販売する6次産業化の拡大などを進めていく。</p> <p>また本県には、ウメやラッキョウ、サトイモなど特産として県外にも販売されている作物の他に、吉川ナスや勝山水菜、河内赤かぶらなど地域の気候、風土に育った特産物が多数ある。しかし、現時点では量が少なく、十分な販売につなげていない。</p> <p>こうした特産物の産地づくりや商工業・観光業と共動した加工品開発・販売を進めることにより、特色ある地域農業を活性化する必要がある。</p>								
<p>[受益者]</p> <p>農林漁業者</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>約3万人</p>				
他県の状況	<p>○新潟県：6次産業ネットワーク活動交付金（国庫）、食品産業連携需要創出支援事業（県単）、6次産業化拡大プロジェクト支援事業（県単）、6次産業化交流ビジネス推進事業（県単）</p> <p>○富山県：6次産業化ネットワーク活動交付金（国庫）、6次産業化とやまの魅力発信事業（県単）、6次産業化 学校等連携チャレンジ支援事業（県単）、とやまの農林水産品企業連携東京圏PR事業（県単）、農商工連携ナビ運営管理事業（県単）</p> <p>○石川県：6次産業化ネットワーク活動交付金（国庫）、流通産業との連携による魅力ある県産食材商品化促進事業（県単）</p>	前事業の有無・実績	<p>■ 無</p> <p>□ 有 事業名</p> <p>(実績)</p>					
関連事業の有無・役割分担	<p>■ 無</p> <p>□ 有 事業名</p> <p>(役割分担)</p>	市町との連携状況	<p>少額の事業については市町単独事業で対応している。またハード整備事業は県と共動で対応するため、市町への間接補助で実施する</p>					
<p>[事業の評価]</p>								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<p>・6次化新商品開発数 26商品</p> <p>・6次化新商品販売額 173,020千円</p> <p>・補助事業件数(県単) ソフト9件、ハード4件</p> <p>・アグリフードEXPOへの出展 8/18.19東京8業者、2/18.19大阪8業者</p> <p>※平成27年度末見込み</p>		加工用機械および施設整備支援の補助単価見直し			□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額
					□ 継続	□ 休止	□ 完了	△ 3,650
					□ 整理統合	□ 廃止	□ その他	

食品加工施設整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[ふくいの農業基本計画、 福井経済新戦略]									
[事業目的]												
6次産業化を推進するため、県産農林水産物を加工して付加価値を高める食品加工施設の整備を支援する。												
[事業内容]												
事業内容	カット野菜製造施設 1 棟 1,300㎡ コメ炊飯加工施設 1 棟 2,000㎡											
事業主体	JA県経済連、食品関連企業による共同事業体											
事業費	50,000千円											
補助率	2/10											
予算要求額	10,000千円（一般）											
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移				2,500	10,000	1,050,000		H27：基本計画 H28：実施設計 H29：施設整備				
2月現計予算額の推移				2,500								
決算額の推移				/								
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標								数値による目標値設定が困難				
活動指標												
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	JA県経済連、食品関連企業による共同事業体					
予算額	10,000				10,000	事業実施方法	補助					
						補助率	県2/10					

事業評価

事業名	食品加工施設整備事業	部局名	農林水産部	課名	食料産業振興課	課長名	加藤弘剛
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>キャベツなど野菜について、これまでは市場出荷により買取価格が変動するため農業収入が安定せず生産面積が拡大しなかった。そこで、加工・業務用向けに栽培した野菜を安定価格で買い取ることにより、農業者の経営を安定させるとともに、作付面積を増加し生産量を拡大して所得の向上および生産振興を図る。</p> <p>また、コメの家庭内消費が減少している中で、近年、女性の就業機会の拡大、単身・二世帯の増加を背景として、中・外食消費の割合は高まっているため、福井県産米をおにぎりや弁当、業務用米飯などに利用を進める。</p> <p>さらに、加工技術や設備を持たない生産者が加工品の製造を委託して6次産業化を行い、農業者の所得向上を図る。</p> <p>以上を実現するため、農産物を加工し付加価値を高めて販売する県全域を対象にした大規模な食品加工施設の整備を支援する。</p>							
[受益者] 農林漁業者				[想定される受益者数] 約3万人			
他県の状況	<p>○新潟県：6次産業ネットワーク活動交付金（国庫）、食品産業連携需要創出支援事業（県単）、6次産業化拡大プロジェクト支援事業（県単）、6次産業化交流ビジネス推進事業（県単）</p> <p>○富山県：6次産業化ネットワーク活動交付金（国庫）、6次産業化とやまの魅力発信事業（県単）、6次産業化 学校等連携チャレンジ支援事業（県単）、とやまの農林水産品企業連携東京圏PR事業（県単）、農商工連携ナビ運営管理事業（県単）</p> <p>○石川県：6次産業化ネットワーク活動交付金（国庫）、流通産業との連携による魅力ある県産食材商品化促進事業（県単）</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況	事業名 (役割分担)				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・市場調査 他県のカット野菜等加工施設の事例調査（6件） ・基本設計 施設の管理・運営体制、売上予測と収支計画、原材料調達計画、販売計画（3月末完成見込み） 		6次産業化を推進するため、県産農林水産物を加工して付加価値を高める食品加工施設の整備を支援		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	